

学校だより



# ゆめは大きく

尾張旭市西の野町5丁目1番 <https://www.owariasahi.ed.jp/asahi-e/>

尾張旭市立  
旭小学校  
第7号  
令和2年  
12月18日

TEL0561-53-2035

## 激動の年

校長 浅野 謙一

12月 師走を迎えました。本格的な冬の到来です。冷たく澄んだ空気の中、夜空高くに凍ったように明るく光る月を見ているだけで心が洗われるような気がします。

思い起こせば、今年新型コロナウイルスに翻弄された激動の年でした。2月の終わりに突然、全国一斉の休校が決まり、6年生は小学校生活最後の大切な時を奪われ、次に登校したのは、ぶっつけ本番の卒業式でした。4月、新しい年度のスタートである入学式が行われたその日に、休校の延長が決まり、再び子どもたちの元気な声が響き渡る事のない寂しい学校に戻ってしまいました。5月の終わりに学校再開のめどがたち、分散登校を経て、ようやく通常の学校生活が始まりました。しかし、感染症対策のための様々な行事の縮小や中止、授業での活動の制限、夏休みの縮小など子どもたちにとっては、とても今までの楽しい学校生活とは言えなかったかもしれません。そして、2学期の運動会、林間学校、修学旅行などの大きな行事については、いつも通りとはいかないまでも、中止という最悪の事態は避けられ、なんとか無事に終了することができました。しかし、本格的な冬を迎え、再び多くの新型コロナウイルス感染症の発症者が報告され、感染の拡大が懸念されています。学校生活においても再度、毎朝の健康観察、マスクの着用、手洗いの徹底、ソーシャルディスタンスの確保を心がけ、三つの密（密閉・密集・密接）を避けるように指導しています。

いつもより少し短くなりましたが、12月26日から冬休みになります。本来なら年末・年始は、様々な伝統行事に参加しながら、親戚の方や地域の人たちとの触れ合うことができる期間ですが、今年はいつもと違う「我慢の年末・年始」になりそうです。しかし、そんな時だからこそぜひ家族の対話を増やしてください。子どもに家族の一員としてお手伝いをさせ、親子でたくさんお話してください。そして、家族が心をつなげて、新しい年が良い年になるように願ってください。

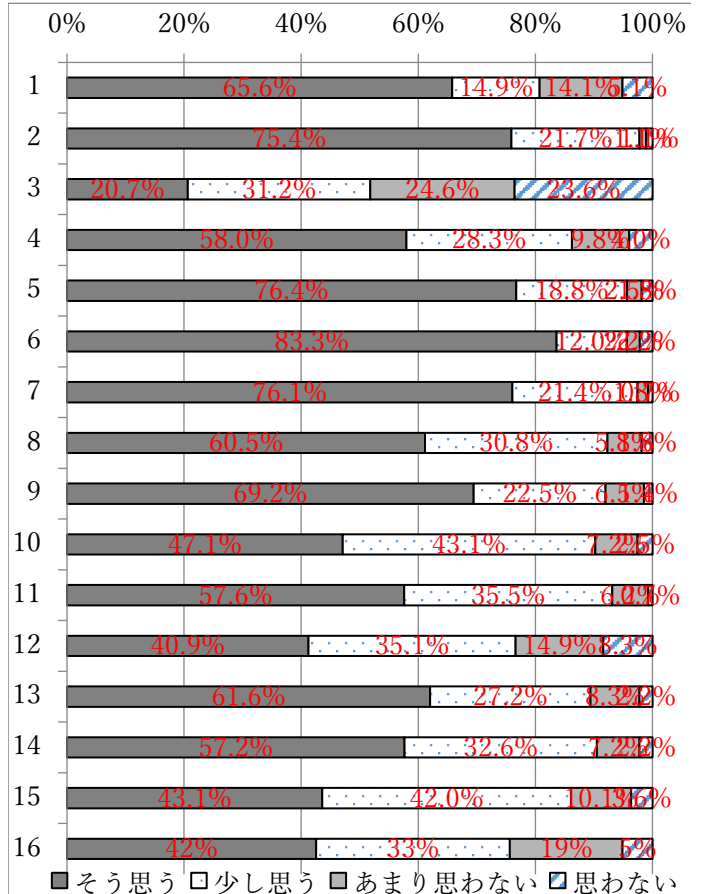
先日、人権週間の時の放送集会で、子どもたちにこんな話をしました。

「人権」とは、人が人らしく、幸せに生きる権利のことです。自由に遊び、好きなことを学ぶ権利や自分の思っていることを言うことができる権利などたくさんあります。しかし、人権が守られず、みんなが自分勝手な行動をしたらどうなるでしょう。お互いに相手の立場を考え、思いやりの気持ちをもって相手に接する心が大切です。そういった心をもつことが人権を尊重することになります。温かい心で人に接する。明るい笑顔で人に接する。心からの優しい言葉を人にかけてあげる。「ありがとう」「すみません」の感謝の言葉を忘れない。こんな思いやりの心もった子どもたちが、旭小学校でたくさん育ってくれることを願っています。

人がよりよく生きるためには、子どもたちの素直さや優しさ、そして新しいことにチャレンジしていく姿勢が大切です。来年こそは、子どもたち同士が触れ合い、学び合うことで成長していくことができる学校に戻れることを願います。よいお年をお迎えください。

## 人権に関するアンケート結果（3、4、5、6年生）

- 1 人間の命は、みんな同じように大切にされている
- 2 熱が出ている友だちのことをかわいそうに思う
- 3 自分のことがまあまあ好きだ。
- 4 仲の良くない友だちとも、協力することは大切だ
- 5 掃除などで、自分が怠けると、友だちが困ると思う
- 6 「いじめ」は許されないことだと思う
- 7 友だちがいじめられているのを見たら止める
- 8 自分の考えを伝えることは大切だと思う
- 9 友だちが熱を出してつらそうにしていたら保健室につれていく
- 10 学校のきまりは、いつも守るように心がけている
- 11 困っている友だちを見たとき、すぐに手伝う
- 12 お家の人が忙しそうにしていたら、すすんで手伝う
- 13 学級の係りは、どの係りになってもすすんでする
- 14 いじめられている友だちを見たら注意する
- 15 自分の言葉や行動で周りの人を傷つけないように気をつけている
- 16 人を傷つけるような言葉を友だちが使ったら、友だちに注意する



3年生の児童は、人権擁護委員の方に、『いじめに関する授業』をしていただき、意地悪をしている子の気持ちや意地悪をされた子の気持ちを考えることができました。また、アンケートの結果から、子どもたちは、『相手の気持ちを考えることは大切』『いじめは許されないこと』ということは、わかっています。でも、人権擁護委員の方が一番伝えたかったことは、もちろん相手の気持ちを考えて行動することは大切ですが、何かあったときに、「助けて」「やめて」と自分の思いを発信することができることでした。『自分のことがまあまあ好き』と答えている子どもは、約半数です。自分のことが好きだと思える子どもたちが増えるように、子どもたちのよいところを見つけていきたいと思えます。地域やご家庭でも、子どもたちのよいところを認めて褒めていただけたらと思います。そして、『人間の命は、みんな同じように大切にされている』と思える旭小学校の子どもたちであることを願います。

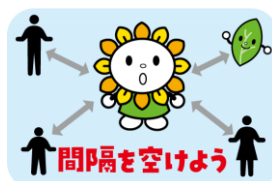
尾張旭市は、11月26日(月)から12月25日(金)までを人権月間として取り組んでいます。ご家庭でも、人権について家族で話し合ってみてください。



### お知らせ

2月に予定していた土曜参観は、中止にします。

With コロナ！！ 3つの密を避けましょう！！



新しい生活様式

